

sports

# スポーツ的

2013

01

vol.01

～スポーツでつなげる手、力強く～

一般社団法人 神奈川県総合型スポーツクラブネットワーク



巻頭クイズ

ここは小田原の  
何処でしょう？

螢田～小田原 クラブのある風景

FREE ￥0 ご自由にお持ちください

この事業はスポーツ振興くじ  
助成により行なわれています



スポーツ振興くじ助成事業

sports

# 『ス』的 2013

## vol.01

～スポーツでつなげる手、力強く～

『ス』とは総合型クラブと地域、人と人を《素敵に繋げる》情報誌です。スポーツとはそもそも“余暇・遊び”であり、地域を繋ぐ運動でもあります。スポーツのイメージを本来持つ姿に戻したい。読後があなたのスタートになるように。「スポーツ的」な情報誌を目指します。

表紙写真：小田原駅前に居酒屋が軒を連ねる「おしやれ横町」の一角に立つ街路灯。ステンドグラスの優しい明かりが、仕事帰りの大人達をねぎらい「まあ一杯やっていきませんか？」と小径に誘うかのようだ。

15 次号予告・投稿募集

14 未来をとらえて 読んで欲しい、この冊！

10 大人から子どもへいま、動かないといけないこと

8 地域への感謝を出会いから生まれるもの

3 螢田く小田原 クラブのある風景

3 特集：城下町スポーツクラブ

8 ス的なエッセイ 子どもの視点・大人の視点

アスリート物語◎清野乙彦(OITY)

巻頭クイズ 回答編

## 「ス」的」創刊にあたり

一般社団法人 神奈川県総合型  
スポーツクラブネットワーク(略：KSN)  
会長 青田 正順

KSNが一般社団法人として発足して、  
一年半が経ちました。

総合型地域スポーツクラブの皆様のおかげ  
をもちまして、このたび情報誌「ス」を創  
刊することが出来ました。この「ス」は、  
県内各地で活動する皆様お一人おひとりに  
スポーツをあて、スポーツを通じて広く「手」  
をつなげていくことをコンセプトにしていま  
す。そして、私たちには必ず生活している基  
盤(地元)があり、多くの人たちに支えられ、  
教えられて生きています。こんなところもこ  
の「ス」から感じ取っていただけましたら幸  
せです。

最後に、KSNといたしまして、皆様の交  
流、親睦のため微力ながら広報活動を通じ  
て、努力していく所存です。今後ともご協  
助を賜ります。



1957年3月24日生、大学よりボテテイルバウリフティング  
をはじめ、1988・90年に全日本バウリフティング100  
kg級優勝、1988年アジア大会110kg級優勝。現在(社)  
日本ボテテイル連盟常務理事、同アンダービニング委員会事務局  
長、神奈川県ボテテイル連盟理事、神奈川県バウ  
リフティング協会顧問、寒川町体育協会副会長、寒川  
町バウリフティング協会理事長、寒川町田端に於い  
てスポーツマイド寒川(下レーシングクラブ)経営



特集.. 城下町スポーツクラブ

# 螢田〜小田原 クラブのある風景

今回は酒匂川のほとりの小田原アリーナを活動拠点とする「城下町スポーツクラブ」を訪ねた。  
神奈川県も小田原まで来ると山々の美しさと青い空が目に入ります。歴史の街・小田原とそこで活動する  
城下町スポーツクラブをマネージャーの野田ひろみさん(こ主人昭義さんがクラブ代表)に紹介してもらおう。





①「螢田」は地名の通り《螢の名所》であり、豊かな田んぼと綺麗な水が見所。取材時には《金色の絨毯》が町のあちこちで広がっていた。②足柄駅や螢田駅付近は、以前はお米業者で賑わう街道があり、大きな銀行や郵便局、旅館、食事処など多くあり、小田原よりも栄えていた。しかし、鉄道等の開通により人の流れも変わり、いまでは、街道の所々で昔の面影を残すのみとなった。③右が今回の取材に協力していただいた野田ひろみさん。左は市のスポーツ推進係の一井舞理さん。④江戸中期に考案された小田原名産「小田原提灯」。折り畳むと上蓋に収納出来る仕組みになっていて、旅行携帯用として広まった。当時は中木に大雄山最乗寺のご霊木を使用し、魔除けとして喜ばれた。



## クラブ創設と現在の活動について

野田ひろみさんは小田原アリーナのメインフロアでこれから始まる卓球教室の準備中だった。お会いするとても歯切れがよい話し方の親しみやすい小田原美人だ。活動場所は小田原アリーナの他、東富水小学校、三の丸小学校等8か所と広範囲に及び、バドミントン、ソフトテニス、卓球、エアロビクス、体操の5種目を14教室で展開している。

**編集部(以下編)** 平日の午後という時間帯にこの大人数(50名ほど)はすごいですね。地域に根付き、密着しているのがよくわかります。

**野田(以下野)** そうでもないですよ。他のクラブさんに比べるとちが一番地域密着できていないかも。(いきなり冗談:大笑)。今はこうして多くの人に来て頂いて、アリーナも使わせてもらっていますが、創設当初は色々ありましたよ。

**編** その当時のご苦労があつて、今こうして皆さんが楽しんで参加してくれているんですね。

**野** 城下町スポーツクラブは多くの他の総合型クラブと創設のいきさが違うんです。他のクラブはもともとやっていたサッカーや野球といった活動から総合型へ展開したケースが多いと思うのですが、私たちは2008年6月に日体協の公認スポーツ指導者が組織した小田原市足柄下郡スポーツ指導者協議会から独立したんです。ですから、設立当初はなかなか地場の皆さん



上: 小田原周辺は湧き水が多い。パチンコ屋の駐車場内にある湧き水「銘水酒匂」 下: 銘水酒匂までの道案内をして頂いた鎌田正道さん(酒匂在住)。息子さんとの待ち合わせ時間に遅れているにも関わらず「これも良い縁だから」とわざわざ案内して頂いた。ユルくて温かいお人柄。



上: 小田原城に隣接するお城の様な形状の三の丸小学校(活動場所) 下: 城下町クラブのサツマイモ畑。収穫したイモは、畑に隣接する老人ホームで調理をし皆で食事を楽しんでいるとのこと。ちなみにこの老人ホームでは、城下町スポーツクラブの社会貢献活動として月2回の体操教室を開催している。



上: 「足下地藏尊」。左足を下げて胡座をかく珍しいご本尊がある。小田原城の鬼門の守りとして鎮座。境内に湧き水があり、ありがたい「延命水」として地域に親しまれている。下: 国道沿いにある、木造の建物と色鮮やかなのれんが印象的な銭湯。運動後に、銭湯でゆっくりするのも風情がある。



野田さんがいつもお使い物として利用している「小田原風月堂」。映画「男はつらいよ」に出てくる団子屋のおいちゃんのような雰囲気のお店。一押しは《城下町もなか》は、外はサクッと、中は餡子がほんのり甘い名菓の名に恥じない一品。

小田原風月堂  
神奈川県小田原市  
本町1-10-20  
TEL:0465-22-2960



**編** クラブのオフィスを持っていないので、このアリーナのラウンジ(元レストランスペース)で真面目に? 定期的にやっています。

**野** 野田さんは神奈川県総合型スポーツ

**野** 野田さんがいつもお使い物として利用している「小田原風月堂」。映画「男はつらいよ」に出てくる団子屋のおいちゃんのような雰囲気のお店。一押しは《城下町もなか》は、外はサクッと、中は餡子がほんのり甘い名菓の名に恥じない一品。

**野** 美人は言うこともいいことというのでしょうか?

**野** 野田さんには大変お世話様になっています。市長の現場訪問の二に取り上げられて、市長の日記にも書かれていらっしゃるように、市長ご自身も地域総合型クラブへのご理解を深めていただきましたので、私としてもとてもうれしく思っています。

**野** この企画はここにいるスポーツ推進係の二井舞理さんがいろいろと尽力してくれましたので、紹介しますね。若い美人だからうれしいでしょう。

**野** お陰様で、体協さんや市のスポーツ振興係さんには本当によくして頂いています。この8月には加藤憲一小田原市長がわざわざ私どもの活動を見学・体験していただいたんですよ。(市長の日記2012年8月31日に掲載)市長をバドミントンと卓球でちょっと鍛えてあげたんですけど(笑)。

**野** 今はこのアリーナ内にある体育協会さんや市のスポーツ推進係の皆さんとコンタクトが取れているようにお聞きしていますが

との関わりがなくて、受け入れられなかったんです。

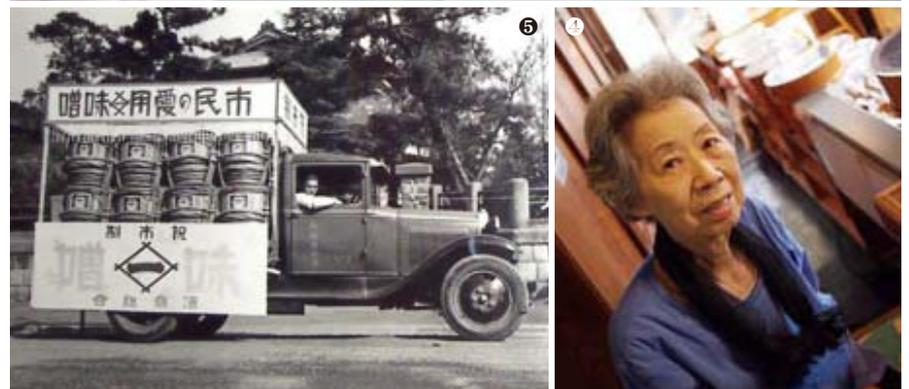
クラブネットワーク(KSN)の県西地区のブロック長という重責もお願いしていますが、近隣の総合型クラブとの連携や関わりについて教えてください。

**野** 小田原フレンドリークラブさんが近くにありますが、連携をよくとって小田原の「運動まつり」など一緒にやらせていただいています。ブロック内のクラブさん、松田や大磯、山北などイベントには声をかけお誘いしています。「この様に横の連携を重要視しています。」

**編** さすがブロック長！ どうしてもご自分のクラブのことでいっぱいになる中、神奈川県、あるいは県西地区のスポーツ振興にまで力を注いでいただくなんて本当に感謝申し上げます。最後の質問ですが、現在城下町スポーツクラブとして、法人化を含めて課題と申しますが、今後取り組んでいくことがありましたら教えてください。

**野** 法人化は正直なところ、やりたいのはやまやまですが、現在、指導員と経営者との両立で手いっぱいであらうというところですね。クラブ会員の年齢構成は小学生と年配者が大半なのですが、子どもの会員層は小学校を卒業と同時にクラブを離れてしまうんです。ですが、毎年新入学の小学生が新たに入会してくるという入れ替わりをうまく繰り返していることで、結果的に現在の会員数(約200名)にはあまり変動がありません。中高生から二十代、三十代の中間層を確保して会員数を増やすことが今後の目標だと思います。

**編** 貴重な時間をありがとうございました。本誌も微力ながら応援させていただきます。



① 世にも珍しい「仏壇墓石ドライブスルー」。車に乗ったままで仏壇を選ぶ画期的なシステム。「スルー」とあるがこの道の先は、お店の「仏壇館」に続いている。② 言わずと知れた小田原城の勇姿。そこに込められた歴史と尊厳とおおらかさは、この街の空気を形作っている大きな要素のひとつ。

③ 西湖地区唯一の味噌醸造業「加藤兵一郎商店」。嘉永3(1850)年創業で現在6代目。風格のある店構えで、街道でもひと目を引く。写真奥白壁にある「おかえりなさい」の言葉にみそ汁そえて…という一文にも店の心意気が垣間見える。④ 先代の奥様、加藤文子さん。突然の訪問にも関わらず、色々お話しいただき、さらに「あがって、珈琲でもいかが?」ととても心の開かれたお人柄。写真をお願いすると、部屋奥に戻りスカーフを一枚首元にさらすと。さすが、160年続く商家の女将はセンスが良い。⑤ 以前は、足柄はお米の産地で、こちらのお店もお米を扱っていましたが、80年程前から味噌醸造業を始めたらしい。写真は小田原が市になった当時(1940年)のもの。

加藤兵一郎商店  
神奈川県小田原市扇町5-15-6  
0120-34-7190  
(午前9時～午後5時)



二宮尊徳の生家と銅像。小田原は知る人ぞ知る「二宮尊徳」の生まれ故郷。市内にある尊徳記念館でボランティア解説員をしてい川瀬さんの笑顔そのものに、二宮尊徳の生き方を感じることができる。

小田原市 尊徳記念館  
神奈川県小田原市栢山2065-1  
0465-36-2381



クラブスタッフの方々がいつも「反省会」と云う名の「飲み会」を行なっている焼き鳥・釜飯の店《相州鳥ぎん》。もともとは漬け物屋さんだそう、お通しで出てくる漬け物と釜飯が絶品。来店者の価値あり。

相州鳥ぎん本店  
神奈川県小田原市栄町1-14-5  
TEL:0465-23-0231  
<http://www.torigin.com>



城下町スポーツクラブ



【代表者】野田 昭義 【活動拠点】小田原アリーナ  
三の丸小学校 東富水小学校 【定期開催】初心者バドミントン／初心者卓球／ソフトテニス／エアロビクス&ストレッチ／親子体操／ダンベル体操／小学生バドミントン教室／小学生卓球教室 等  
【イベント等】さつまいも苗植え／収穫祭／ハイキング  
【連絡先】野田 ひろみ  
【TEL】090-8683-5444  
【FAX】0465-42-4643  
【メール】hikiyomi000@hotmail.com



山登りが好きで趣味で写真もやられるという城下町クラブ会長の野田昭義さん。公認上級バドミントン指導員。寡黙な中にも情熱と優しさがにじみ出るお人柄が写真からもうかがえる。奥様とはバドミントンが縁で出逢ったとの事。奥様は当時、教員をしており、みんなのアイドルとして多くの方に好意を寄せられていたが、奥様の視線の先には昭義さんが。三の丸小学校体育館横の喫茶店がいつもの待ち合わせ場所だったとか。



# ス的なエッセイ

子どもの視点・大人の視点



## キャッチャーマスクを被ると全体が見えてくる

高津総合型スポーツクラブSELF所属 小学5年生 上杉 浩大



僕の夢は「プロ野球選手になること」です。それは、大好きな野球を毎日できるからです。しかも、同じように野球が大好きで上手な選手が集まっている中でプレーをする事ができるからです。

僕は、とても負けず嫌いなので、優勝できるチーム、巨人とかで活躍して、目標とされるような選手になりたいです。

僕は幼稚園の時にアニメをみたり、お父さんがプロ野球を応援しているのを見て、自分でもやってみたくなり地元の軟式チームに入りました。とっても楽しくて、すごく野球が好きになりました。

そして、小学校2年生の時にボーイズリーグで硬式野球を始めました。来年は最高学年の6年生になります。やっと大きな大会に主力として戦えます。

その中でも、一番大きな大会である、夏の『全国選手権大会』で優勝して、日本一になる事を目標にしています。だから、毎日練習をします。そして、最近、大事な事が付きました。

それは、「声をだしていくこと」で

す。キャッチャーをやるまでは、なんだか、なんとなく、恥ずかしいような気がして声を出せなかったけれど、キャッチャーマスクをかぶると、全体が見えてきていっぱい感じる事があつて、気が付いたら沢山、声が出ていました。今までは考えられなかった事が、今では当たり前に行えるようになった事が多くあります。

仲間がエラーをして、チームの雰囲気重たくなってきた時に、僕が大きな声を出して励ましていくと、次のプレーでナイスプレーがでて一気に流れがこっちに来た〜！と感じた時はとても嬉しかったです。このようにいいプレーがたくさん出ると、全国制覇できると思います。

そして、チーム全員で練習や試合ができるのは土日しかないのですが、ここでしっかり成果を出すために、平日に毎日ちゃんと練習することが大事だと思います。

中学、高校でも常に全国レベルで野球のできるチームで活躍して、プロにスカウトしてもらえそうな選手になりたいです。

そして、日本一になる！事が目標です。

上杉君のお母さんより

まだボーイズリーグに移籍したばかりの、小学2年生の真冬に雪が舞う中、濡れて凍った地面に這いつくばってフィジカルトレーニングをする息子を見て、死んでしまうんじゃないかと本気で心配になりました。

息子に「こんなに雪が降ってても練習するチームでやっているの？今のうちに辞めようよ。お母さんが無理……」と言った事がありました。

すると、「何言ってるの？がんばれよう〜！」と、息子にお尻をポンとたたかれ、逆に励まされてしまいました。

この時に、本当にこの子は野球が大好きで本気でやっているんだと知りました。

学校から帰ればグローブをはめてはボールをキャッチングしてみたり、磨いてみたりしています。

3年生の時に購入した硬式用のグローブがつい先日破けたと言います。たった2年間使ったくらいで、破ける訳ないわ〜！と半信半疑で



よく見ると、本当に破けてしまい、ましてや、指の付け根の骨のところにはボールをとった跡がしっかりとつき、皮が薄くなり、年季の入ったグロブになっていて大変驚きました。修理に出すとツギハギのようになってしまい、本人はしよけていますが、たくさん練習した証なので、大事に使うとも言っています。

こんなに幼少の頃から、大好きな事が見つかり、それに打ち込める環境がある事が羨ましく思います。

ボーイズリーグは公式戦や練習試合を埼玉や八王子など遠方で開催することが多く、5時出発なんて事は当たり前にあります。

どんなに早朝でも試合ができる楽しみから、絶対に私より早く起きて私を起してくれませう。

雨あがりのグラウンド整備でドロドロになってしまった私のスニーカーを「風呂場にいれといて、ユニフォームと一緒に洗うから」とさりげなく気遣ってくれたりします。

こんな風に、逆に子供に支えてもらいながらですが、子供の夢・目標を共有でき、共に感動したり、泣いたり、怒ったり、同じように子を見守る親の仲間ができた、素敵な指導者に出会えたりと、野球を通じて、私もたくさん勉強させていただいています。

感謝する事がいっぱいです。そして、子供たちから教わることはばかりです。

息子が一生懸命やるなら、私はその気持ちに恥ずかしくないように、一生懸命に応援するだけです。



## サッカーを始めたのは幼稚園のとき

かながわクラブ所属小学5年生 難波 優雅

多くの夢は、プロサッカー選手です。

サッカーを始めたのは幼稚園の時です。テレビでサッカーの試合を見て、ぼくもやってみたくて思ったのがきっかけでサッカークラブに入りました。最初の頃は、夢中でボールをけっていました。試合に負けた時はとても悔しかった事を覚えていいます。

かながわクラブに入ったのは4年生の時です。あまり試合をした事がなかったのももちろんやっています。でも練習や試合を重ね、少しずつ自信を持てるようになってきました。

現在は、他に二つのスクールにも通っています。色々なタイプの仲間とサッカーをできる事はとても楽しく勉強になります。

ぼくのあこがれの選手は、FCパルセロナのダビド・ビジャ選手です。ポジションはクワース、トラップ全てがお手本になるからです。そんなビジャ選手を目標にしながら毎日練習を重ねてきました。

そして、横浜市トレーニングセンターに合格できました。家族の支え、みんなの協力があつたからこそ



合格できたと思います。これから横浜市トレーニングセンターで満足しないで、県トレ、関東などもっと上を目指していきたいです。これからも、かながわクラブの仲間を大切にしてがんばりたいです。そして、夢や希望を与えられるような選手になりたいです。

### 難波君のお母さんより

息子がサッカーを始めたきっかけは幼稚園の頃になります。「何かやりたいことあるの?」との問いかけに「サッカーがしたい」と迷うこ

となく返事が返ってきました。あれから6年、今より小さい3号球のボールを園児の仲間と一生懸命蹴っていたのをつい昨日のこの様に思い返します。息子が「かながわクラブ」にお世話になったのは小学4年生になった時でした。「以外に遅い」という印象を持たれる方もいるかと思いますが、小学3年生まではチーム登録はなく週に2度のサッカースクールを楽しみにサッカーに明け暮れる毎日を送っていました。そんな息子も「かながわクラブ」に入会してから大きく成長したと思います。なにより試合経験を積めるようになり試合感を養えたことは本人にとってもかなりプラスになりました。「将来の夢はプロのサッカー選手になる」とのこと、親としても出来るだけ夢に近づけるようサポートしてあげたいと思います。



アスリート物語◎清野 乙彦 (OTTY)

# 地域への感謝を 「出会い」から始まるもの

「国境や人種の枠を越え、地球という星のメンバーとして戦争を無くし、平和に対する意識をボールに込めて伝える。そこから家族の絆を強く持てる社会にする使命がある」。その信念を抱いた時から変わらぬ想いで走り続けている清野 乙彦。アートフットボールが人々の娯楽に、希望の光に、そして心の癒しとなるように、力を貸してくれている仲間感謝していつまでも努力し続けていきたいという熱い思いを語ってもらった。

撮影: AKIRA TAKAHASHI



清野 乙彦 (OTTY) プロフィール  
名古屋グランパスエイト、FCバイエル・ミュンヘン、フットサル日本代表を経てアートフットボールという未知のスポーツを生み出す。現在、日本のスポーツ文化をボール遊びから学び、世界に伝えていく学校「オッティ芸術蹴球アカデミ」の代表として活動中。

地域に教えられ、周りの人達に助けられ、引き上げてもらうことができたから。

道無き道を頂上目指して  
一歩一歩進んでいく。それが  
真のトップアスリート。

「トップアスリート」。そう呼ばれることをとても光栄に思います。しかし、私はトップを目指して生きていくだけの人間です。トップアスリートと呼ばれる人達は、人気がある選手、目立たないけど真面目な選手など様々な個性に溢れています。多くは、上には上がいることを知っており、終わりのなき目標を自ら掲げて前進しています。日々努力を重ね、チャレンジ精神を磨き、決して足を止めることなく道無き道を頂上目指して一歩一歩進んでいく。それが真のトップアスリートの姿でしょう。

人の進む道は、その地に根差した歴史文化や、幼い頃の仲間同志の遊びによつて決まることが多いのではないのでしょうか。人はそれぞれ当然ながら、生まれ育った家庭環境や地域スポーツ環境が違います。

たとえば遊ぶスペースのない都市圏域では、コンクリート公園広場のバスケットコートに仲間が集まって、上手に競い合っている姿に魅力を持ち、ゲームを繰り返すうちにその中

で誰よりもフリースローが上手くなっていく。そうしてチームの中心選手になったことがきっかけで大きな夢を叶えていったトップアスリート。

またはハンドボールの全国1、2を競うチームが近所にあり、クラブに所属してみたら肩の強さ、ジャンプシュートの速さ等競技センスがあることをコーチに早くから認められ、ぐんぐん頭角を現し、ついには中学、高校の総体で優勝を経験して日本を代表するアスリートになった人もいます。

共通するのは、  
近くに「誰か」が  
いてくれたこと。

これらに共通して言えることは近くに誰かがいたこと。誰かに出会い、その時、その人達に「きっかけ」を与えてもらい、その住んでいる地域に教えられ、周りの人たちに助けられ、引き上げてもらいながら成長してきたのです。それを知り、それに感謝してこられた人がトップアスリートになれるのではないのでしょうか。

目的を持ち社会に役立って  
生きている人であれば  
誰もがトップアスリート。

2011年8月、私は生まれて初めて、富士山に登りました。それも世界の冒険家・登山家、三浦雄一郎先生、豪太さん親子率いるミウラドルフィンズと。そして約40名の被災した東北、塩釜の中学校生徒と家族。

被災者支援隊員である私の役目は、登山中の彼らを勇気づけること、記録ビデオを撮ること、そして富士の頂上で私の作ったスポーツ、「アートフットボールパフォーマンス」を全員に見せてあげること。

5合目よりスタートした私ははしゃぎながら、上を目指すみんなの元気な姿を撮ろうと色々なアングルを探しカメラを回していました。しかし、徐々に気持ちが悪くなりあくびがたたくさん出はじめ眠気と頭痛でふらふら。最後には岩影で嘔吐。「これは下山しなくては、俺は死ぬかもしれない」と虚弱な思いを脳裏でよぎらせながら、苦しさをこらえていると案の定ドクターストップに。薬を処方されダウン。酸素不足、高山病の一手手前でし

た。このとき30分の睡眠をとったのですがそれはもう天国のようでした。

その後、自分の本分を全うしななくてはと、先を行く班を追うリカバーの動きをしてアピールしました。が、ビデオ撮りするモデルたちはずっと先に行っていて見当たらず…。

しかし、次第に高山地域に身体が慣れてきたのか、やけに元気がなり足も軽快になりました。

3000メートルの峰では雲をかき分け、程よい冷たさの空気が心地よく、山に咲くかわいい白い花、青い吹き抜けた空にひばりのさえずる声が反響して音楽に変わっていくのを感じました。見下ろせば歩いて来た道が、下にいくにつれ細く、くねくねと蛇行してボールペンで線を描いているようにも見えました。ゆつくり上を目指す人もいれば下山でスニーカーがぼろぼろになつている人、道中で友達になつたのか会話して笑っている人、泣いている娘のリュックを引っ張り上げ、力づくでついて来させている悪い父親、子どもがまだいないのか寄り添いながらコーヒーを飲んで遠くの山脈を指さしているカップル。私はそんなドラマを垣間見ながら、頂上へいこうと決めて目的を持った者、社会に役

## 昨日の無様な自分に優しい手を 差し伸べてくれたみんなへ恩返しする」と

立つて生きている人であれば誰もが  
トップアスリートなのだと考えまし  
た。

ようやく9合目に辿り着いた私  
は被災した子どもたちに出迎え  
られ、支援するはずが逆に応援さ  
れてしまいました。「オッティがみ  
んなに助けられてどうするよー」  
と。グラグラひやかされ笑いのネ  
タを提供しつつ、スタッフ一同に申し  
訳なさを感じ深々と頭を下げまし  
た。

ソフトクリームのような夏の入道  
雲が眼下にあり、天空から麓へふも  
とを眺めている自分がここにいる。  
38歳にして生まれて初めての体  
験に感動しました。とにかく登山  
客は皆とてますがすがしい顔で美  
しかったのを覚えています。夜は山  
小屋の万年雪荘でのカレーと鹿の  
刺身を食べ、豪太さんの43歳のお  
誕生日を祝い、楽しい昔話を聞いて  
私の初富士の1日目は終わりました。

2日目は真夜中の2時から始ま  
りました。眠ったと思ったらもう起  
きる時間で、「ここはどこだ」と。も  
ぞもぞと暗がりでもヘッドライトをつ

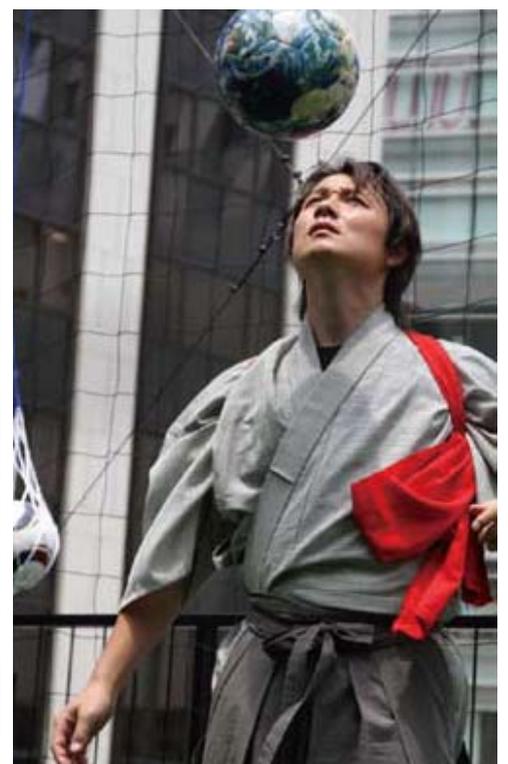
けての荷造り。「ここは富士山だっ  
たの(涙)」と。極度な眠気と疲  
労感が私を襲ってきました。しか  
し、昨日の無様な自分に優しい手を  
差し伸べてくれたみんなへ恩返しを  
すること、山頂でこそ来光を全員無事  
に見て下山する最後までサポー  
トをしようという心を決め出発しまし  
た。

真っ暗な外は満点の星空……。地  
上でもヘッドライトの行列が出来て  
いて、きれいなラインが頂上へ向かっ  
ていました。狭い富士山道は岩や  
砂利でできた急斜面。落石の危険  
性も十分。しかし同じ目的を持つ  
た40名に月明かりが応援してい  
ました。一歩一歩を踏みしめる被災  
された思春期の子どもの心  
悲しみは私たちの想像を超えてい  
ます。家が津波に流されてようや  
く仮設住宅に住み始めた女の子。  
中には親が亡くなった子もいます。  
一言も話さない話せない子は何の  
ために登ろうと思ったのか。笑顔  
を振りまき、おちゃらけて見せる  
子ほど辛い経験をしているに違いな  
い。私に出来ることは、光の列に入  
り「もう頂上見えてきたよ、あと少  
し！」と言葉掛けをすることだけだ

した。

私より40離れた78歳の  
三浦雄一郎先生は2年後(来年  
2013年4月)80歳の最年  
長で最高峰エベレストへ登る準備を  
している頃でした。三浦先生の後  
ろ姿をみながら「この姿が真のリー  
ダーなんだなあ」と思いながら、冷  
え込む夜明け近くの薄明りを頼  
りにVTRを回しました。このよ  
うなエベレスト登頂を仕事とする  
プロフュッショナルの山岳チームとは  
めつたに登ることは出来ません。そ  
の隊員たちの動き、サポート精神、  
チームワークはそれぞれ「トップアス  
リート」でした。私には、華やかな  
プロサッカー選手の時代がありまし  
た。チームのサポートよりも自分  
のキャリアを優先し、契約金を高  
値にさせることを考えがちな小さ  
な若輩者がそこにはいました。そ  
れに比べ、この登山を仕事にできる  
人は世界でも握り。生死をかけ  
るレーサーのように明日の命の保証  
はない。華やかさなどは無縁のネ  
イチャースポーツ。大自然との調  
和、崇高な美しい景観に魅了されて  
生きているからこそ、偉大なる景観  
に見合う人格になつてゆくのでしょ

写真右: アートフットボールとは日本から生まれたボール遊びのこと。ボール遊びを音楽に合わせ、全  
心身を使って表現する未来のスポーツである。掲げたテーマを自分流に表現したものを作品として人々  
に発表する。一人でもチームとしてもどんなところでも楽しめるもの。技や動きのみならず、音楽、衣装  
などもオリジナルであれば究極の「アートフットボール」として誕生する。(ottyホームページより抜粋)  
写真下: 苦労の末の富士山登頂。日本の頂上(トップ)での1ショット





富士山頂でのアートフットボール。高山の不思議な感覚でのパフォーマンス体験。みんなの歓声と手拍子に疲れた身体も動き出す。

う。昔の私を含め華やかなプロスポーツ選手たちへその爪のアカを煎じて飲ませたいほどの思い。そんな素晴らしい方々と一緒に頂上へ向かっていることに幸せを感じていました。初登山、初富士山、なんと私は幸運なのかと。

頂上(トップ)に到達する少し手前で金色に光る御来光を待ちました。秒単位で顔を出す太陽の御光にみんなで手を合わせて感謝。オレンジ色の優しい光が被災した子ども達の頬を照らします。そして、全員無事に登頂成功。この日は降水確率100%の予報でしたが、奇跡的に神がかったような晴天を、なぜか不思議に思わない私たちがそこに居ました。

そこで、世界で初めて、富士山頂での「アートフットボール:ショー」を開催させてもらいました。持ってきた私の地球儀ボールを膨らませて、塩釜のメンバーの復興のために「夢の自転車(ドリームバイシクル)」という技をアレンジした「夢の塩釜自転車」をプレゼント。富士山初登頂での「アートフットボール」の技の数々。みんなの歓声と手拍子。高山での

パフォーマンスは宇宙か、夢の中にもいるような不思議な感覚でした。しかし、少し動いただけで呼吸が苦しくなるのを実感。さらに、酸素が体内に行き届かないので乳酸が即たまり、筋肉が固まって収縮してしまいました。体力消耗が激しく、3分が限界でした。ボールも軽くなりすぎて風船のようで、風が吹くと何メートルもボールと飛んで行ってしまふ。これが世界初の実験結果でした。

### 次やって来た新しい仲間達に場所を譲ること、それがポリシー。

サッカーだけがスポーツではない。この体験で、アウトドア、ネイチャースポーツには、とても素晴らしく最高の気持ちを与えてもらいました。頂上から見る風景は天国にいかと思っほどの気持ち良さ。どんな世界のトップアスリートもそのてっぺんにいるからこそ、寛大な精神を持って、社会の為に役だてることを生きたる使命と考えたい。しかし、有頂天になる者にはその資格を与えてはいけません。そうさせる周囲からの誘惑も回避してこそそのトッ

プアスリートと言えるでしょう。また、山頂にずっといるわけにもいきません。必ず数時間後には山を降りていきます。次やって来た新しい仲間たちに場所を譲ること。それが登山家のポリシー。「ライブ」ではなく、「仲間」だということを学ぶのです。そして、更なる進化を遂げるために、次の自分の可能性に臨む準備が始まります。私はまだ引退はしていません。当然、セカンドキャリアでもないと考えています。サッカー選手という形では成し遂げることができなかったものを、「アートフットボール」に置き換えて生きているのです。それは私だけの芸術とスポーツを融合した世界。それが社会の健康を作る大きな可能性となるように、毎日準備を欠かさずにいるトップアスリートでいたいと思います。

最後に、子どもたちへ。スポーツも人生も、トップに行くためではない。人として社会に必要とされる自分のサイズに合った存在になってください。自分に愛情をくれる家族仲間、そして地域に感謝して、大人になつてください。

社会の健康をつくる為に、毎日準備を欠かさないトップアスリートでいたい。

# 大人から子どもへ いま、動かないといけないこと

城山めいぶる 高橋実



ITの急速な発展で日常生活に携帯、スマホが入り込み、人間関係の希薄さ、人間同士のコミュニケーションの弱体化が社会問題として顕在化してきた今日。われわれ大人が次の世代に向けて遺さないといけないことは、人間同士が交流する機会を提供するとともにその交流をリードする大人と子どもたちの間に位置する若者たちを見つけたことではないか。即ち、われわれの想いを引き継ぎ、次の時代のコミュニティの担い手を発掘して育ててもらうこと。そんなことを考えると、いつも思い出す光景がある。

今から10年ぐらい前の夏。全国スポーツ少年団大会が神奈川県立あいかわれあいの村で開かれた。全国各県からスポーツ少年団の代表380名が参加し、3泊4日に亘って交流した。この時、大会の各プログラムの企画立案運営を受け持ったのが16名の大学生中心の神奈川県リリーダー会の若者たち。

15のグループに分かれた参加者にそれぞれ付き添い、交流のサポーター役もこなしながら、伝統工芸体験、スポーツ競技大会、ハイキング交流、夏祭り等々二つのプログラムを確実に遂行した。参加者の小中高高校生からみると、お兄さん、お姉さんたちがリードしてくれているという感覚で、日に日に交流が深くなり、最終日は涙する参加者もいた。このリリーダー会の若者たちが後継者として、活動していつてくれるならば、心配することがない……そう思ったものだ。

その後、わが地域においてもリリーダー会を結成しようと活動を始めたが、受験と学校生活のゆしさ？からか活動の参加が少なくなり、3年でもとん挫してしました。自分のことだけで精一杯だったのかもしれないが、未だ心残りのある経験である。

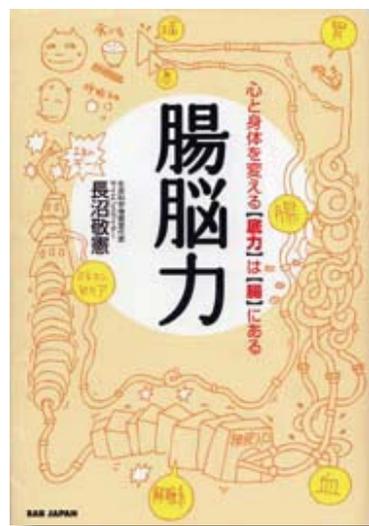
そんなことから、総合型地域スポーツクラブの果たすべき役割のひとつに、次の若きリリーダーの発掘と育成があると考えている。スポーツの技量が優れているというアスリートだけでなく、戦略をもつて二つの組織をリードするとともに、積極的に他の組織と交流しながら地域を活性化させるリリーダーを生み出すことだ。

よくよく見渡してみれば、日本全体の優先すべき課題であるようにも思える。今、行政学校・地域（PTA）の垣根を越えて真剣に取り組まなければいけないときにあり、総合型地域スポーツクラブへもその貢献が求められている。

10年前、当時のプログラムを担当してくれたリリーダー会の若者達。こういった若者達の発掘育成が総合型クラブのミッションの一つ。



## 未来をとらえて 読んで欲しい、「二冊」！



『腸脳力』  
著／長沼敬憲  
発行／BABAJAPAN  
1200円（税別）

あなたが食べているものが、  
あなた自身である。

なっている様々な症状に対して良い効果が得られると伝えていきます。

今のマスメディアは、毎日のように健康や美容に関わる食品や情報を配信しています。どれも良さそうで効きそうまで迷ってしまいます。しかし、本当に理解出来ている人はどれ位いるのでしょうか。単純に、野菜や善玉菌を腸へ送りこめばいいのだと思っはいませんか？ ならばなぜ多くの人が健康に関する情報を知っているのにも関わらず「大腸がん」は急速に増えているのでしょうか。

まず腸があつて脳がある。

この本の著者は、生命科学のサイエンسライターであり、医学・生理学から自然哲学的思想まで、人間の英知への深い知識をベースに、「腸」と「脳」の深い関わりを一般読者にわかり易く書いています。《腹ハラ》という単語から、「腹を据える」「腹が立つ」「腹黒い」などの言葉を挙げ、「心」と「腸」の関わりを歴史、自然科学、哲学の視点から説明する後半は、科学ドキュメンタリーとしても読み応えがあります。不安定で予測不能な今の社会。「腹に据えかねる」事も多い日常生活。「腹」を据えて、体の根本（「腸」を正常にすることが、ストレス社会を元気に美しく生きる秘訣であることがわかります。

本書は、食べたものや飲んだものが、どうやって「体」と「心」になるのかを具体的にイラストを多く使って分かりやすく伝えていきます。それらを知っておくことが、健康と美容の為の無駄な時間と出費を減らします。また、《体の根本「腸」を正常な状態にすれば、社会的に問題に

元気になりたい、美しくなりたいと真剣に願う人達、さらに、「大腸がん」が急速に死因の一位になってしまった女性達に、是非読んでほしい一冊。

# 空中に浮かぶまち「星川」 クラブのある風景

旧東海道保土ヶ谷宿の丘崖に家が立ち並ぶ、空中に浮かぶまち「星川」。  
次号はカンガルークラブが拠点とする横浜市保土ヶ谷スポーツセンターのある  
星川駅周辺を散策。町や人々の表情をお伝えします。



カンガルークラブ スタッフ  
エアロビクスインストラクター  
岡田 美代子さん

カンガルークラブの創設(平成元年)から、輝き続けている岡田さん。生き生きとした美しさと若さの秘訣を聞いてみた。

カンガルークラブのエアロビクスのインストラクターを20年以上も続けさせていただいていることは、エアロビクス自体の魅力に加えて、カンガルークラブのアットホームな雰囲気とメンバーの皆さんが素晴らしいことですね。私も長いですが、メンバーの方もずっとついて来てくれていまして、そういう皆さんと一緒にいい歳の取り方をすることが、私自身の成長にも繋がっていると思っています。お母さんのエアロビクスに赤ちゃんとして籠に入ってついてきた「子」がママになって同じように今度は赤ちゃんを連れて来てくれる。素晴らしいですね。これがカンガルークラブの魅力であり、総合型スポーツクラブのできるところではないでしょうか。こういうことに私は、やり甲斐、生き甲斐を感じて、これからも輝き続けていきたいと思っています。



## 情報誌「斯的」では写真・エッセイ・川柳など、 読者のみなさまからの投稿をお待ちしております。

ご応募いただいた方の中から抽選で毎月2名様に特集で紹介した地域の名産品をプレゼント。

投稿の宛先はこちらまで

一般社団法人神奈川県総合型スポーツクラブネットワーク事務局「斯的」読者投稿係  
〒213-0011 川崎市高津区久本3-11-2 川崎市立高津中学校内高津SELFクラブハウス  
TEL: 044-833-2555 FAX: 044-833-3006 Mail: jimukyoku@kanasponet.com

### 編集後記



街をまわるのは非常に楽しい。  
人と出逢い、風景と出逢い。  
それが誰かに喜ばれるなら、  
こんな幸せなことはない。  
織物のように、人と人を  
繋いで紡いで生きたいと思ひます。: 戸沼



皆様のご協力で私たちの情報誌「斯的」が  
創刊出来ました事を大変うれしく思っています。  
「目標を掲げる」「経験を伝える」そして  
「地元を愛して生きていく」こんなことをテーマに、  
また次号を楽しみにして頂けるような内容に  
していきたいと思ひます。: 林

「斯的」2013年1月号 2013年1月10日発行 発行元: 一般社団法人神奈川県総合型スポーツクラブネットワーク

企画・製作・編集: ゲートマーシュ 戸沼智貴、林俊行 グラフィックデザイン: 田中文太郎(Bt\_arts)

この事業はスポーツ振興くじ助成により行なわれています 協賛: 富士ゼロックス神奈川株式会社 ※掲載の写真・イラストおよび文章の無断転載を禁じます。

もはや、デスクの一部です。



コンパクトなサイズと、さらに高まった静音性で、デスクサイドに複合機をおき、離席しないで作業する、そんなワークスタイルも可能になりました。欲しい機能はそのままに、新たな節電機能も搭載。この一台で、オフィスレイアウトの幅がぐっと広がります。スモールオフィスにおける効率的なビジネスワークをサポートします。

© A3カラー複合機なのに場所をとらない省スペース設計。デスクサイドに設置しやすい2トレイモデル ※も新たにラインナップ。 ※写真は2トレイショートモデル

複合機から新しいオフィスを考える。

DocuCentre-IV C2263

www.fujixerox.co.jp/ XEROX、およびそのロゴと“コネクティング・シンボル”のマークは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

富士ゼロックス株式会社

www.fujixerox.co.jp/knx/ 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい4-4-2 横浜ブルーアベニュー13階 TEL 045-681-1101

富士ゼロックス神奈川株式会社

## 神奈川県内の総合型スポーツクラブ一覧

- |        |    |                           |                        |                                    |                           |
|--------|----|---------------------------|------------------------|------------------------------------|---------------------------|
| 横浜ブロック | 1  | 鶴見スポーツ&カルチャークラブ           | 37                     | 茅ヶ崎総合型スポーツクラブ“YOU悠”                |                           |
|        | 2  | NPO法人 かながわクラブ             | 38                     | NPO法人 SUERTE                       |                           |
|        | 3  | はざわクラブ                    | 39                     | (財)逗子市体育協会スポーツクラブ「うみかぜクラブ」         |                           |
|        | 4  | NPO法人 横浜かもめanimaクラブ       | 40                     | NPO法人 スポーツクラブ1994                  |                           |
|        | 5  | まる倶楽部                     | 41                     | 寒川総合スポーツクラブ                        |                           |
|        | 6  | NPO法人 ライフネットスポーツクラブ       | 42                     | NPO法人 パームインターナショナル湘南               |                           |
|        | 7  | NPO法人 横浜スポーツ アンド カルチャークラブ | .....                  |                                    |                           |
|        | 8  | NPO法人 FCゴール               | 県西ブロック                 | 43                                 | 城下町スポーツクラブ                |
|        | 9  | 弘明寺くらぶ                    | 44                     | NPO法人 湘南ベルマーレスポーツクラブ               |                           |
|        | 10 | NPO法人 カンガルークラブ            | 45                     | 港スポーツクラブ                           |                           |
|        | 11 | 新井中学校文化・スポーツクラブ           | 46                     | NPO法人 W.O.F                        |                           |
|        | 12 | NPO法人 若葉台スポーツ・文化クラブ       | 47                     | 小田原フレンドリークラブ                       |                           |
|        | 13 | NPO法人横浜ラグビーアカデミー          | 48                     | 東海大学健康クラブ                          |                           |
|        | 14 | 金沢スポーツクラブ                 | 49                     | NPO法人 AZスポーツクラブ                    |                           |
|        | 15 | やましたスポーツ・文化クラブ            | 50                     | NPO法人 大磯うみくらぶ                      |                           |
|        | 16 | NPO法人 CLUB TEATRO         | 51                     | 星槎湘南大磯総合型スポーツクラブ                   |                           |
|        | 17 | くろがね倶楽部                   | 52                     | 松田ゆいスポーツクラブ                        |                           |
|        | 18 | NPO法人 わくわく教室              | 53                     | あしがら総合型スポーツクラブ「あすぼ」                |                           |
|        | 19 | 都筑スポーツプランナー竹の子の会          | .....                  |                                    |                           |
|        | 20 | クローバースポーツクラブ              | 県央・県北ブロック              | 54                                 | NPO法人 城山スポーツ&カルチャークラブめいぶる |
|        | 21 | さかえスポーツくらぶ                | 55                     | 大沢フットボールクラブ                        |                           |
|        | 22 | 緑園スポーツ・文化クラブ              | 56                     | NPO法人 相模原フットボールクラブ                 |                           |
| .....  |    | 57                        | NPO法人 FCコラソン           |                                    |                           |
| 川崎ブロック | 23 | 川中島総合型スポーツクラブ             | 58                     | 総合型地域まちづくり文化スポーツクラブ(スポレク相武台J01JOY) |                           |
|        | 24 | 幸総合型スポーツクラブPLUM           | 59                     | NPO法人 SRC(スポーツレクリエーションコミュニティ)      |                           |
|        | 25 | 平間スポーツレクリエーションクラブ         | 60                     | やんちゃるジム                            |                           |
|        | 26 | NPO法人 かわさきスポーツドリーマーズ      | 61                     | NPO法人 ミハタ                          |                           |
|        | 27 | NPO法人 高津総合型 スポーツクラブSELF   | 62                     | あそべる大沼クラブ                          |                           |
|        | 28 | 菅生スポーツ・コミュニティクラブ          | 63                     | NPO法人 Vidaスポーツクラブいさま               |                           |
|        | 29 | NPO法人 中野島総合型スポーツクラブビルネ    | 64                     | NPO法人 綾瀬スポーツクラブコミュニティ              |                           |
|        | 30 | 金程中学校区「わ・わ・わクラブ」          | 65                     | 愛川ウエルネスネットワーク                      |                           |
| .....  |    | 66                        | NPO法人 きよかわアウトドアスポーツクラブ |                                    |                           |
| 湘南ブロック | 31 | 馬堀スポーツクラブ                 | .....                  |                                    |                           |
|        | 32 | NPO法人 横須賀シーガルズスポーツクラブ     | 準備中クラブ                 | 67                                 | 宮ヶ谷ネット運営委員会               |
|        | 33 | よこすか総合型地域スポーツクラブ          | 68                     | くうねるあそ部                            |                           |
|        | 34 | NPO法人 湘南ルベントスポーツクラブ       | 69                     | NPO法人 葛野スポーツクラブ                    |                           |
|        | 35 | 善行・大越スポーツクラブ              | 70                     | 中原元気クラブ                            |                           |
|        | 36 | NPO法人バシフィックビーチクラブ         | 71                     | NPO法人 おおねスポーツコミュニティ                |                           |